

便利な道具とのつきあい方

小 四

学校がりん時休業の間、テレビや新聞で、コロナウイルス感せんしようについでのニュースをたくさん見ました。感せんした人の数や都道府県ごとの人数がともくわしくほう道されていきました。そればかりでなく、感せんした人が芸のう人だった時は、その人の行動がともくわしくほう道されていきました。なぜそんなにくわしく分かるのだろうと考えていたら芸のう人の多くはSNSをやっていて、それをたどっていくと、いつ、どこで、だれと、何をしたかがすぐに分かっ

うということが分かりました。

SNSとは、辞典で調べてみると、「インターネット上の会員せいサービスの一つでたくさんの人とのコミュニケーションをとったり新たな人間関係を作ったりする場を提供する。」とありました。自分が伝えたいことをすぐに発信できる、とても便利な道具だけれど、場合によっては、他人からうげきを受けるきっかけになってしまうこともあります。

SNS上のトラブルでは、最近大きな問題が起きました。テレビ番組の出演者がたくさんの人から心ない言葉でこうげきされて自らの命をたっ

しまつたと報道されました。このことを受けてSNSの会社は、「いやがら

せや相手をばかにするような書きこみをきん止すること。」「トラブルが起らないように正しい使い方を知らせる活動を行うこと。」などに取り組んでいくことを発表しました。

わたしは、他人からの心ない書きこみによって、人の命が失われてしまったことに対し、悲しい気持ちになりました。なぜなら、この出演者の方は、顔も知らない人から、たくさんの悪口を言われてしまったからです。どうしてそこまで相手をきずつけ、こうげきしてしまいう世の中なのかとも感じます。

人間の命は、だれもが一つしかなく、一人一人が大切に育てられています。突然に命を落としてしまった今回の問題は、とても残念に思った人が、

たくさんいたと思います。

SNSの正しい使い方を知り、いつも相手のことを考えてコミュニケーションをとれる世の中になってほしいと思いました。また同じような問題が起きないためにも、書きこみをする人は、自分の言葉にせきにんをもち、行動してほしいです。

わたしもけいたい電話を持っていて、家族や友だちと連絡をとり合うときは、SNSを使うこともありません。伝えたい事をかん単に送ることができます。ですが、相手の顔は見えないけれど、相手の気持ちを考え、コミュニケーションをとることができているか、自分の気持ちを相手に正かくに伝えられているかを心がけ、便利な道具とつきあっていきたいです。